

(記者発表資料)



令和2年度当初予算(案) の概要

【まちの未来像】

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

与謝野町

令和2年度予算について

「安心と成長を実現する」

令和2年度当初予算のポイント

令和2年度の重点的に取り組む事項

(1) 「子ども子育て環境の充実」及び「きめ細かな支援制度」を確立する

特定不妊治療交通費支援、産後ケア、こどもの居場所、遊び場づくりなど、よりきめ細やかな支援策を盛り込み、妊娠期、出産期の不安を解消し、安心して子どもを産み、育てることができる環境を確立する。

(2) 一人ひとりに寄り添い、社会全体で支援する体制を整備する

引きこもり等で職に就くことができなかった方の居場所づくり、高卒認定を目指す等就労準備支援、生活困窮家庭等への学習支援、障害者の就労・雇用に向けての仕組みづくり、町営住宅の入所要件である連帯保証人の撤廃、町営バスの運行ルートの見直しなど、社会的に立場の弱い方たち一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな支援策を実現する。

(3) 未来の子どもたちに引き継ぐ自然環境を守る

与謝野町の豊かな自然環境を未来の子どもたちに引き継いでいくために、与謝野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定を行うとともに、引き続き阿蘇海流域の水質浄化、環境保全啓発に取り組む。また、バイオ発電など自然環境に配慮した宮津与謝クリーンセンターが令和2年4月から稼働。

(4) 観光拠点整備により与謝野ファンを創出する

旧加悦町役場整備工事が完了し、令和2年度に竣工式典を加悦奥川の竣工式と併せて開催。また、地域で活用されている「かや山の家」を滞在交流型施設として整備する。また、ジビエ料理や郷土料理を提供するなど、地元資源・食材の活用で与謝野ファンの創出(リピーター増)を目指す。

(5) SDGsの理念に基づいた「第2期ひと・しごと・まち創生総合戦略」を推進する

令和2年度から実施する第2期ひと・しごと・まち創生総合戦略は、SDGsの理念に基づき、「よさの愛」を持った「ひとづくり」を最重要目標とし、5つの基本目標を柱に、「よさの愛」にあふれたキラリと光る人財による「しごとづくり」「まちづくり」を推進する。

令和2年度主要事業

山添町政2期目に掲げた
「5つの基本政策」

- ①経済成長を実現する。
- ②多様な交流を実現する。
- ③安心・安全を実現する。
- ④与謝野力の向上を実現する。
- ⑤持続可能な環境を実現する。

整合



「第2次総合計画の7つの分野別方針」

- 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち
(①産業・雇用)
- 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち
(②移住定住・観光交流)
- みんなが自分らしく幸せに生きるまち
(③健康・福祉)
- つながりで笑顔を未来につぐまち
(④結婚・出産・子育て)
- 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち
(⑤教育・文化・スポーツ)
- 美しく住みやすい安心安全なまち
(⑥自然・生活環境、防犯・防災)
- 住民が主人公となるまち
(⑦協働・コミュニティ・行財政)

「5つの基本政策」は、第2次与謝野町総合計画に掲げる与謝野町が目指す未来像

「**人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来**」との整合を図り、まちづくりを推進します。



令和2年度主要事業

①経済成長を実現する

自然循環農業推進事業(①産業・雇用)

765万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	与謝野町が推進してきた自然循環農業を進化させるべく、肥料の品質改良、地域資材を活用した新肥料の研究・開発等により、農産物の高付加価値化を図ります。また、与謝野町の主要農産物である“京の豆っこ米”、“白大豆”の生産振興・広報宣伝を継続して展開。		農林課 (国：1/2)
	(1)京の豆っこ肥料の改良、より環境に配慮した新肥料の開発 ・地域資源を活用した新肥料の試験製造 ・施肥方法の改善	72	
	(2)肥料散布委託、特別栽培米の取組みに対する補助金など	339	
	(3)京の豆っこ米販売促進 ・与謝野町の特徴ある農業を紹介するポータルサイトの拡充 ・新規需要米等の京の豆っこ米販促事業支援など	128	
	(4)白大豆生産振興及び作業受託補助金	226	



令和2年度主要事業

①経済成長を実現する

特色ある農業推進事業(①産業・雇用)		521万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>これまで取り組んできた自然循環農業や、ICT(情報通信技術)を活用したスマート農業、そして六次産業化が期待される新規作物であるホップの生産などを支援することにより、産地の知名度向上、農産物の高付加価値化及び新規就農者の確保を図る。</p> <p>(1)農業モデル確立事業補助金 ・スマート農業の取組、豆っこ肥料栽培試験を支援 ・ホップ栽培拡大等の支援</p> <p>(2)事業協議、研修会参加等</p>	<p>170 (国:1/2)</p> <p>330 (国:1/2)</p> <p>21</p>	農林課

令和2年度主要事業

①経済成長を実現する

企業立地推進事業(①産業・雇用)		433万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>工業団地を有しない与謝野町では、大規模な企業誘致は困難であることから、産官学民の空き施設などを活用した小さな規模の企業誘致を引き続き推進する。</p> <p>近年、都市部の織物業・情報通信業の事務所が町内に相次いで進出している。引き続き与謝野町ならではの取り組みを実施するとともに、既存の産業と産業間連携による新たな産業創出や、未来技術を積極的に導入・活用し、多様な掛け合わせ・産業間連携による産業イノベーションを促す。</p> <p>・企業立地促進助成金 ・雇用奨励金 ・固定資産税相当額奨励金 ・利子補給補助金</p>	433	商工振興課

産業振興支援事業(①産業・雇用)		600万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>与謝野町中小企業基本振興条例を推進するための取り組みとして、創業支援、新商品等開発支援、国内・海外販路開拓支援など産業全般の支援を行い、地域循環型経済の推進を図る。</p>	600	商工振興課 (一部国:1/2)

令和2年度主要事業

①経済成長を実現する

織物振興対策事業(①産業・雇用)

3,413万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
	<p>基幹産業である織物業の担い手の発掘・育成するとともに、情報発信により産地の認知度を高め関係人口の増大を図り、持続可能な織物産地を形成することを目指し、各種施策を横断的に展開する。(施策体系図は別紙のとおり)</p>		商工振興課
	<p>1. 設備投資支援</p> <p>織機等の維持補修などの経費負担に対する助成を行うことにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発の機運を高めるとともに、新たに小規模事業者に対しての下支えを支援を行い、生産力低下や後継者不足への対応を図る。</p>		
継続	・ 織物織機調整等支援事業補助金	180	(国:1/2)
継続	・ 織物業生産基盤支援事業費補助金	800	(国:1/2)
継続	・ テキスタイル産地化事業補助金(織物業生産設備広幅化支援)	1,300	(国:1/2)
新規	・ 織物小規模生産基盤支援事業	120	
	<p>2. 人材育成・情報発信</p> <p>若手織物事業者や関係機関により設置された「ひらく織実行委員会」で実施される全国の繊維産地との交流事業や、繊維産地ポータルサイト「ひらく織」の運営を行う情報発信事業、新商品・新サービス開発事業に対して支援を行う。</p>		
継続	・ ひらく織実行委員会負担金	280	(国:1/2)

令和2年度主要事業

①経済成長を実現する

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
	<p>与謝野町織物技能訓練センターを拠点に、力織機及び手織の織物職人の養成プログラム、並びに織物産地短期滞在プログラムを構築し、町内外の人材の発掘と職業訓練機会を創出し、業界の課題である担い手不足の解消を目指す。</p>		商工振興課
継続	・ 織物職人養成プログラム企画運営委託料	400	(国:1/2)
継続	・ 短期滞在織物体験プログラム企画運営業務委託料	80	(国:1/2)
	<p>3. 広域連携</p> <p>「丹後ちりめん創業300年」を迎え、丹後産地の「ものづくり産業文化」と「地域の魅力を広く発信する機会」ととらえ、京都府、関係市町及び丹後織物工業組合等との連携により、丹後ちりめんの地域ブランドの向上と未来に繋げるための人材育成を目指し、円滑な事業展開を図る。</p>		
継続	・ 丹後ちりめん創業300年事業実行委員会負担金	176	(国:1/2)

令和2年度主要事業 ②多様な交流を実現する

アベリスツイス交流事業(⑤教育・文化・スポーツ)		291万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>アベリスツイス(英国・ウェールズ)とは、昭和59年から高校生相互派遣交流を民間団体を中心に実施しており、令和2年度は、与謝野町在住高校生のアベリスツイス派遣を実施予定。</p> <p>また、アベリスツイス大学との産学連携・文化交流を実施予定。</p> <p>(1) アベリスツイス高校生相互派遣交流(派遣)</p> <p>(2) アベリスツイス大学サマースクール留学 大学が企画する夏休み期間中の英語研修プログラムへの参加者を募集。</p> <p>(3) アベリスツイス大学生の受入れ ホストファミリー、保育園児・小中高等学校生徒や各種団体との交流、企業訪問、日本文化の体験等を通じて国際理解を深める。</p>	291	観光交流課 (ふるさと人づくり基金:213) (参加者負担金:78)
美心・与謝野魅力発信事業(②移住定住・観光交流)		300万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>地域資源を生かした新たな体験商品の開発及びプロモーション事業を主体とした事業展開を図り、更なる滞在交流を推進することにより、本町が有する地域資源を活用した滞在交流型の観光地域づくりを加速させ、人を呼び込み、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・観光地域づくり組織支援事業補助金</p>	300	観光交流課 (国:1/2)

令和2年度主要事業 ②多様な交流を実現する

お試し移住体験事業(②移住定住・観光交流)		60万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>移住希望者の中には、移住後の生活環境の変化に不安を感じている方がいる。安心して定住していただくためには、まずはお試しで移住し、町(地域)や気候風土、生活スタイルの変化を体験していただくことが必要であるため、移住者の受入れに前向きで、受入後のフォローにも対応できる岩屋区内にお試し住宅を設置するもの。</p> <p>お試し住宅 借家借上げ @50,000円×12ヶ月</p>	60	観光交流課
移住・定住支援事業(②移住定住・観光交流)		280万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>1. 与謝野町子育て世帯移住定住促進事業補助金 本町に移住し、定住する目的で住宅を新築または新築建売住宅・中古住宅を購入した子育て世帯に対して、その取得に要する費用の一部を補助する。 補助額は基本額に加え、加算メニューにより最大280万円の補助金となる。</p>	280	観光交流課 (国:1/2)
新規	<p>2. 与謝野町アンバサダー設置制度 与謝野町にゆかりがあり、町外に店舗・拠点のある企業に協力者となっていただき、店舗等で町の紹介(パンフレットの配架やイベント紹介等)を依頼するとともに、当町に興味がある方があれば、その内容に応じて町や関係企業・団体を紹介していただき、繋がりを構築していく。</p>	0	

令和2年度主要事業 ②多様な交流を実現する

海の京都DMO支援事業(②移住定住・観光交流)

2,188万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>1. 海の京都DMO与謝野地域本部事業</p> <p>町の観光推進事業の根幹を担う与謝野町観光協会の組織強化を図り、事務・事業執行の体制強化及びまちづくり観光を基軸とした「観光地域づくり」「体験プログラムづくり」を中心に、海の京都エリアにおける与謝野町独自の滞在型交流の仕組みを構築し、海の京都DMO本部及び各地域本部との連携をもとに、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・与謝野町観光協会補助金</p>	1,750	観光交流課
継続	<p>2. 海の京都広域連携事業</p> <p>5市2町の観光協会を統合した観光商社機能を有した「一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(通称:海の京都DMO)」が行う市場調査や体験プログラムの造成、国内外でのプロモーションなど、海の京都事業も年々進展している中、地域住民や観光事業者との連携構築を図る。</p> <p>・海の京都DMO広域観光推進事業負担金</p>	438	(国:157)

令和2年度主要事業 ②多様な交流を実現する

かや山の家整備事業(②移住定住・観光交流)

6,050万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>かや山の家は、昭和53年に建築以来、40年余りが経過し、宿泊施設の要ともいえる「風呂」・「トイレ」・「厨房」等の老朽化が進んでいる。</p> <p>こうしたことから、子ども連れのファミリー層、インバウンドをターゲットとし、滞在交流型施設として改修する他、施設の一部をジビエ加工施設として改修する。</p> <p>施設の管理・運営は、「(株)かや山の家運営委員会」が指定管理者として行い、需要のあるジビエ料理や郷土料理を提供することにより、地元資源・食材の活用で与謝野ファンの創出(リピーター増)を目指す。</p> <p>・工事監理委託料 ・かや山の家整備工事費 ・備品購入費</p>	<p>220 5,500 330</p>	観光交流課 (国:1,939)

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

喀痰吸引等研修事業(③健康・福祉)		6万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成(1/2)を実施。</p> <p>・12万円×1/2</p>	6	福祉課
介護福祉士修学資金貸付金(③健康・福祉)		120万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>深刻化する介護人材不足について、安定した人材の確保・定着のため、町内において介護福祉士の業務に従事しようとする者に対し、修学に要する資金を貸与することにより、本町における持続可能な福祉人材の確保を図る。</p> <p>・年間60万円×2人(返還免除規定有り)</p>	120	福祉課

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

くらしと仕事の支援ネットワーク事業(③健康・福祉)		108万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続 新規	<p>ひきこもり・不登校等が原因で長く職に就くことのできなかった方の居場所をつくり、自立した社会生活に向けた学習、訓練の場とするとともに、少しでも収入につながる作業(ものづくり、内職、就農体験)を通じて、自身の役割を自覚し、就労準備支援、ステップアップ就労につなぐための支援を行う。</p> <p>令和2年度は、新たに19歳以上で高卒資格のない方を対象に、高校卒業認定を目指した学習等支援を実施。</p> <p>・役割のある居場所事業 ・高校卒業を目指す学習等支援事業</p>	60 48	福祉課 (国:2/3)

令和2年度主要事業

③安心・安全を実現する

生活困窮家庭学習支援事業(④結婚・出産・子育て)		86万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	生活困窮者自立支援法施行(平成27年度)により、生活保護受給に至る前の段階の自立支援策の強化を図ることとなり、その中でも、子どもの貧困対策・貧困の連鎖を断つことに重点を置き、京都府との連携により学習支援・生活支援を実施。 ・週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施。	86	福祉課

障害者就労支援事業(①産業・雇用 ③健康・福祉)		42万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	障害者の生きがいの創出に向けて、特に就労に特化し、障害者の継続した就労、また事業者の障害者雇用について支援する。令和2年度は就労・雇用に向けての仕組みの構築及び、事業者や一般町民に向けての啓発を行う。(パンフレット作成、各種会議の開催等)	42	福祉課

令和2年度主要事業

③安心・安全を実現する

特定不妊治療交通費助成事業(④結婚・出産・子育て)		50万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	妊娠を望む夫婦が積極的な不妊治療に臨めるよう、高額な自己負担が必要となる特定不妊治療の申請者について、その治療にかかる交通費の一部を助成することにより、経済的・精神的負担の軽減を図る一助とする。 ・1度の特定不妊治療の申請につき5回分までの交通費を助成 1回の交通費5,000円×5回分=25,000円(年間上限50,000円/人) ・年間対象者見込:延べ20人×25,000円=50万円 ※府内では京都府が令和2年度から実施。 (1回の治療に伴う通院交通費相当額が1万円を超える額の半額を助成)	50	子育て応援課

キッズステーション事業(④結婚・出産・子育て)		120万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	地域のすべての小学生を対象とした居場所づくり、遊び場づくり、地域住民との触れ合いの場作りとなる拠点(キッズステーション)を設置運営する自治区、特定非営利活動法人、地域ボランティアグループ等に対し支援を行い、子ども達が安心して遊べる・学べる・交流できる居場所づくりを行うもの。 ・60万円×2団体=120万円	120	子育て応援課

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

ハローベビープロジェクト事業(④結婚・出産・子育て)		110万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>妊婦とその配偶者(未婚の場合は、パートナー或いは妊婦のみ)と面談を行い、産前、産後の役割分担を明確にし、親子ともに安心して過ごせるハローベビー計画書を作成する他、生まれてくる子どもに必要となる歯科保健指導や離乳食に繋がる記念品をお渡しする等、育児についての孤独感の軽減を図るとともに、産前産後の切れ目のない支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親面談時：子育て関連支援用品の進呈 ・離乳食教室時：記念品(離乳食用の茶碗、木製スプーンのセット)の進呈 	110	子育て応援課
産後リフレッシュ事業(④結婚・出産・子育て)		61万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>ハローベビープロジェクトで面談を行った方に、生後6ヶ月を期限とした産後リフレッシュ券を一人3枚配布し、食事や入浴ができる産婦デイサービスをリフレかやの里等で実施する。デイサービス事業では、助産師との相談や子どもの沐浴あるいは保育を行い、育児から開放される機会をつくり、相談や親同士の交流、ゆっくり入浴できる場を設定することで、産後の孤立しやすい環境の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦デイサービス：月2回開催(1回につき定員4名) ・自己負担：1,000円 	61	(国1/2) 子育て応援課

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

認定こども園整備事業(④結婚・出産・子育て)		804万円 (債務負担行為11億5,000万円)	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>整備予定地の遺跡発掘調査のため、当初予算には桑飼小学校解体工事設計業務委託料のみ計上。監理委託料、整備工事費は債務負担行為に計上。</p> <p>(1)スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度 遺跡発掘調査、こども園新築工事着手 ・R3年度内 開園予定 <p>(2)令和2年度当初予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑飼小学校解体工事設計業務委託料 ・債務負担行為(期間：令和2年度から3年度、限度額：115,000) ・新園舎建設工事費、桑飼小学校解体工事費、監理委託料 	804 115,000	子育て応援課
 <p>かやこども園イメージ図</p>			

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

農業用ため池ハザードマップ作成事業 (⑥自然・生活環境、防犯・防災) 1,300万円			
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>令和元年度に引き続き防災重点ため池を対象に、農業用ため池の決壊被害を想定したハザードマップを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度：廃池工事に向けた実施計画策定（3池）、3池のハザードマップ作成 令和2年度：6池のハザードマップ作成 令和3年度：3池の廃池工事 	1,300	農林課 (府:10/10)
除雪機械運転免許取得支援事業(⑥自然・生活環境、防犯・防災) 15万円			
区分	事業概要	事業費	担当課
新規	<p>町道及び公共施設等の除雪を行う町内の除雪事業者の除雪オペレータが高齢化に伴い確保が困難になってきている。そのため新たに除雪オペレーターの養成を行う除雪事業者に対し、大型特殊免許（農耕車限定免許、キャタビラ限定免許を除く）取得に係る経費の一部を助成するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 除雪機械運転免許取得支援補助金 (対象経費の1/2以内、限度額：1名につき5万円) 	15	建設課

令和2年度主要事業 ③安心・安全を実現する

災害に強い森づくり事業(⑥自然・生活環境、防犯、防災) 3,567万円			
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>平成30年7月豪雨等により、溪流内において、山腹の崩壊や不安定土砂の堆積が発生しており、今後の豪雨による山腹崩壊の拡大や、それに伴う土砂流出を防止するために、治山事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所 庄谷(下山田地区) 事業概要 治山堰堤新設 1基 	3,567	農林課 (府:3,500)
河川改修事業(⑥自然・生活環境、防犯・防災) 1億円			
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>継続的に進めている浸水対策事業として、鞭谷川(石川地区)、ソブ川(三河内地区)、久渡川(石田地区)、根曾川(金屋地区)の河川改修工事等を実施する他、三河内地区の奥山川流域解析を実施し、三河内地区の今後の浸水対策への方向性を定めた浸水対策基本計画の改定を行う。</p>		建設課
継続	<ul style="list-style-type: none"> 水路等整備工事等 	9,000	
新規	<ul style="list-style-type: none"> 奥山川流域解析業務 	1,000	


令和2年度主要事業

③安心・安全を実現する

消防施設等整備事業(⑥自然・生活環境、防犯・防災)		200万円	
区分	事業概要	事業費	担当課
新規	<p>平成30年度に消防団が10分団(再編前は12分団)に再編を実施したが、消防車庫は旧分団の車庫を使用している分団もあることから、一つの分団に再編したが車庫は2箇所という分団も存在する。</p> <p>そのため消防車庫詰所を現体制に合わせ消防施設整備を行う。</p> <p>・第2分団車庫詰所用地造成に伴う測量委託料</p>	200	防災安全課

令和2年度主要事業

④与謝野力の向上を実現する

よさのみらい大学事業(⑦協働・コミュニティ・行財政)		400万円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	 <p>持続可能な“まちをつくる”ために、最も必要なのは「人」と考え、与謝野町総合戦略(未来への約束)において、「織りなす人～与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人財育成～」を掲げ、①教養、②地域力(郷土愛・地域学)、③創造力、④国際力を身に付けるために、共に教えあい学び合う場となる「よさのみらい大学」を開校する。</p> <p><学部概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ●リベラルアーツコース ※人々が交流し学ぶ場 ・講座数：3回程度 ●地域づくり学部 ※地域を牽引する人材の育成 ・講座数：3回程度(連続講座も検討) ●ビジネス学部 ※起業(小商い)する人材の育成 ・講座数：3回程度(連続講座も検討) 	400	企画財政課 商工振興課 社会教育課 (国:1/2)

令和2年度主要事業

④与謝野力の向上を実現する

岩滝大名行列実施事業(⑤教育・文化・スポーツ)		50万円	
区分	事業概要	事業費	担当課
新規	<p>前回開催(平成23年度に合併5周年事業として実施)から10年が経過する令和3年度に実施を予定している岩滝大名行列に向け、実行委員会を立ち上げるとともに、当該実行委員会に対して補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大名行列実行委員会補助金 	50	企画財政課

中学校施設整備事業(⑤教育・文化・スポーツ)		9,746万円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>生活環境の変化に伴い、便器の洋式化を進める事業として、洋式化率0%の江陽中学校のトイレの洋式化を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理委託料 ・江陽中学校トイレ改修工事費 	119 9,627	学校教育課 (国:1/3)

青少年育成事業(イングリッシュキャンプ)(⑤教育・文化・スポーツ)		40万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>町内の小学生に英語でコミュニケーションを取ることの楽しさを知ってもらうことで、多様性を理解するための土壌を育む事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学5・6年生を対象に、1泊2日で、英会話を交えたグループ活動を実施。 	40	社会教育課

令和2年度主要事業

④与謝野力の向上を実現する

地域学校協働活動推進事業(⑤教育・文化・スポーツ)		66万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	<p>地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みを検討・実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加悦中学校における地域ボランティアによる学校運営への支援をコーディネートする。 ・他の与謝野町立小・中学校における同様の事業展開の可能性について検討。 ・与謝野町におけるコミュニティースクールの導入について研究を行う。 	66	社会教育課 (府:2/3)

スポーツレクリエーション活動委託事業 (③健康・福祉 ⑤教育・文化・スポーツ)		34万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>与謝野町障害者福祉会に対し、卓球バレー等障害者スポーツの普及、大会開催について事業委託を行うものであるが、令和2年度は特にパラリンピックの開催に合わせ聖火イベントを実施。</p> <p>8/16に阿蘇シーサイドパークにおいて、障害者スポーツイベントの実施と併せて聖火の採火式を実施し、障害者の活躍する社会の構築に向けて啓発する。</p>	34	福祉課

令和2年度主要事業

④与謝野力の向上を実現する

高校魅力化推進事業(⑤教育・文化・スポーツ)		674万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	<p>町内唯一の高校であり、町の最高学府である京都府立加悦谷高校・京都府立宮津天橋高校加悦谷学舎が、魅力的で地域に選ばれる学校となるために、町と高校との連携・協働をより一層推進し、将来の与謝野町を担う人づくりに資する。</p> <p>(1)魅力化コーディネーターの常駐配置(地域学習等の調整と推進・積極的な魅力の発信)</p> <p>(2)探究ゼミの実施(アクティブラーニング講座・推薦入試対策講座)</p> <p>(3)ベトナム中高生と加悦谷高校の生徒との交流事業の実施</p> <p>現在、ベトナム・ホーチミンに医療・リハビリ・職業訓練等を行う総合施設を建設するための準備関係者とよさのうみ福祉会が交流されており、令和元年度にベトナムの中高生が与謝野町を訪問。</p> <p>令和2年度は、ベトナムの中高生と加悦谷高校の生徒との交流を実施し、国際理解教育の充実を図るとともに、継続的な交流の方向性を検討する。そのためベトナム中高生の移動等支援(自動車借上料、通行料、宿泊料等)を行う。</p>	674	社会教育課

令和2年度主要事業

⑤持続可能な環境を実現する

阿蘇海等環境づくり事業(⑥自然・生活環境、防犯・防災)		177万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>本町と宮津市及び京都府と協議の上、平成28年度に「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」を制定。</p> <p>平成29年度以降は、この条例制定の趣旨等に鑑み、「阿蘇海の日」を設け、本町と宮津市との共同で環境浄化等の啓発事業の取り組みを実施。</p> <p>令和2年度は、本町が自治総合センターの助成を受け、阿蘇海に親しんでもらう取組として「SUP(スタンドアップパドルボード)やシーカヤックの体験、遊覧船による阿蘇海周遊体験」などを実施予定。</p>	177	住民環境課
よさの百年の暮らし委員会事業(⑥自然・生活環境、防犯・防災)		55万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地域協議会として設立した「よさの百年の暮らし委員会(愛称:みらいふ)」が主体となり、地球温暖化防止や環境保全の啓発事業を実施(グリーンカーテン講習会、環境イベントなど)。</p> <p>また、阿蘇海とその全流域の水質浄化やポイ捨てしない環境づくりを行い、阿蘇海流域を美しくするため、気軽にボランティア清掃活動を実施してもらう取組として、「ちよこつとボランティア(愛称:ちよこボラ)」を推進。</p> <p>さらに、令和2年度は、「与謝野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を改定し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出抑制等の取り組みを推進する。</p>	55	住民環境課

令和2年度主要事業

⑤持続可能な環境を実現する

行財政改革推進事業(⑦協働・コミュニティ・行財政) 125万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	令和元年度に策定した第3次行政改革大綱に基づき、引き続き事務事業評価、職員の人材育成を一体的に取り組む。また、公共施設マネジメント事業を統合し、公共施設のあり方を引き続き検討していく。 ・行政経営マネジメントアドバイザー謝礼 ・事務事業評価の運用	125	企画財政課

協働のまちづくり調査事業(⑦協働・コミュニティ・行財政) 300万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	地域の地域運営組織(単独自治区・複数自治区)が、地域の多様な個人・団体、地域支援員とチームとなり、町の職員(場合によっては京都府職員も参画)の伴走支援を受けながら、地域課題の解決に向けての調査を実施する。 (1)調査内容(2点) ・地域のあり方と必要な地域活動・地域活動の試行から見えてくる課題の調査 ・地域運営組織と町との協働の仕組みの調査 (2)地域協働モデル推進交付金 100万円×3地区=300万円	300	企画財政課

資料編

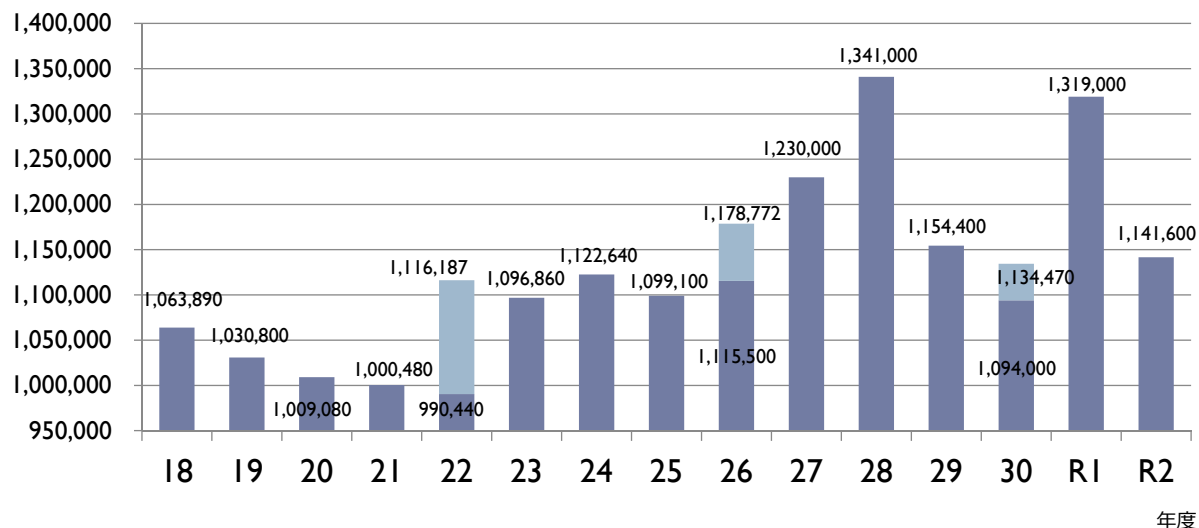
資料編 予算の規模（一般会計）

▶ 一般会計予算 114億1,600万円

・令和元年度当初予算比較：17億7,400万円減（▲13.4%）

単位（万円）

※22・26・30年度は骨格予算と6月補正後予算額を表記



資料編 予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

一般会計・特別会計（8会計）・水道事業会計の

▶ 予算総額 199億1,071万円 対令和元年度当初予算： ▲8.7%（19億243万円減）

単位（万円）

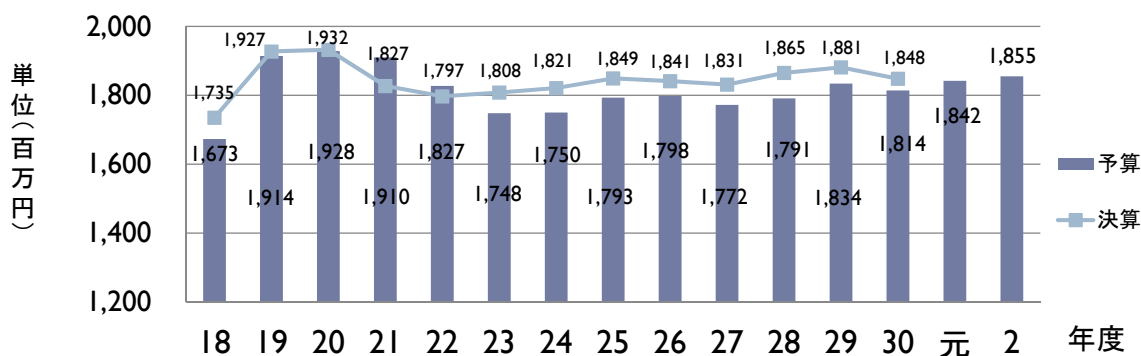
会計別	令和2年度 当初	令和元年度 当初	増減率(%)
宅地造成事業特別会計	7,547	7,931	▲4.8
下水道特別会計	168,000	168,550	▲0.3
農業集落排水特別会計	3,650	3,720	▲1.9
介護保険特別会計	274,400	272,910	0.5
土地取得特別会計	39	43	▲9.3
国民健康保険特別会計	232,700	249,600	▲6.8
後期高齢者医療特別会計	33,920	28,770	17.9
財産区特別会計	9,254	9,470	▲2.3
水道事業会計	119,961	121,320	▲1.1
特別会計・水道事業会計合計	849,471	872,513	▲8.7

資料編

<町税の状況>

▶ **町税総額 18億5,514万円** 対前年度:1,352万円増(+0.7%)

税目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減率(%)
町民税	8億4,101万円	8億3,200万円	1.1
固定資産税	8億904万円	7億9,360万円	1.9
軽自動車税	8,309万円	8,002万円	3.8
町たばこ税	1億2,200万円	1億3,600万円	▲10.3
合計	18億5,514万円	18億4,162万円	0.7



資料編

<町税の状況 (前年度比較) >

■ 町民税

町民税内訳		令和2年度予算	令和元年度予算	増減率(%)
個人	所得割	7億1,600万円	7億500万円	1.6
	均等割	3,490万円	3,500万円	▲0.3
	滞納繰越分	719万円	757万円	▲5.0
法人	法人税割	3,800万円	3,700万円	2.7
	法人均等割	4,470万円	4,700万円	▲4.9
	滞納繰越分	22万円	43万円	▲48.8
合計		8億4,101万円	8億3,200万円	1.1

■ 固定資産税

固定資産税内訳		令和2年度予算	令和元年度予算	増減率(%)
土地		2億7,480万円	2億7,300万円	0.7
家屋		3億9,810千円	3億8,780千円	2.7
償却資産		1億1,520万円	1億1,160万円	3.2
滞納繰越分		738万円	757万円	▲2.5
固有資産等所在市町村交付金		1,356万円	1,363万円	▲0.5
合計		8億904万円	7億9,360万円	1.9

資料編

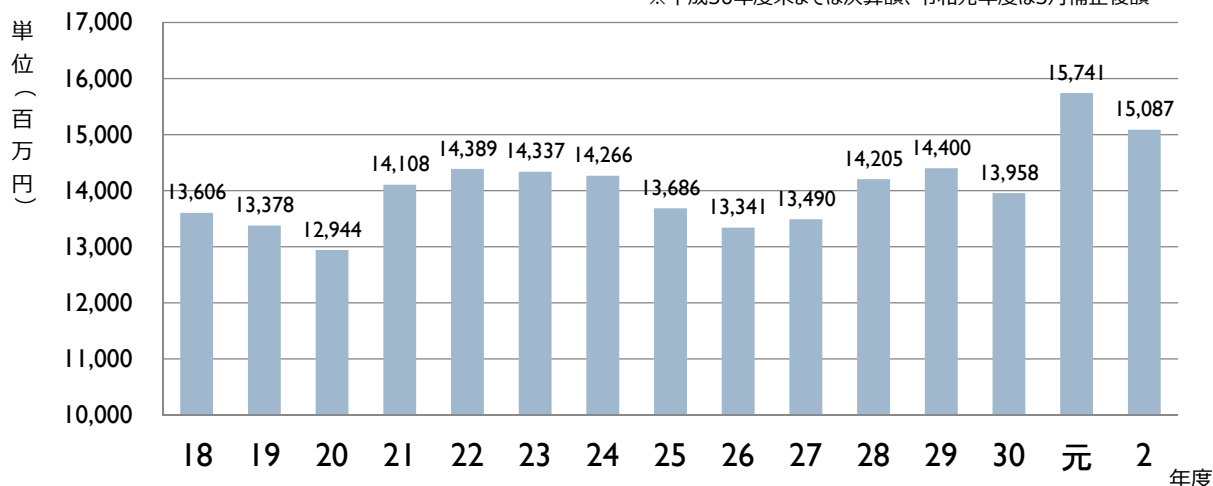
<町債の状況（一般会計）>

▶ **令和2年度末町債現在高見込み 150億8,680万円**

対前年度:6億5,362万円減(▲4.2%)

町債残高推移

※平成30年度末までは決算額、令和元年度は3月補正後額

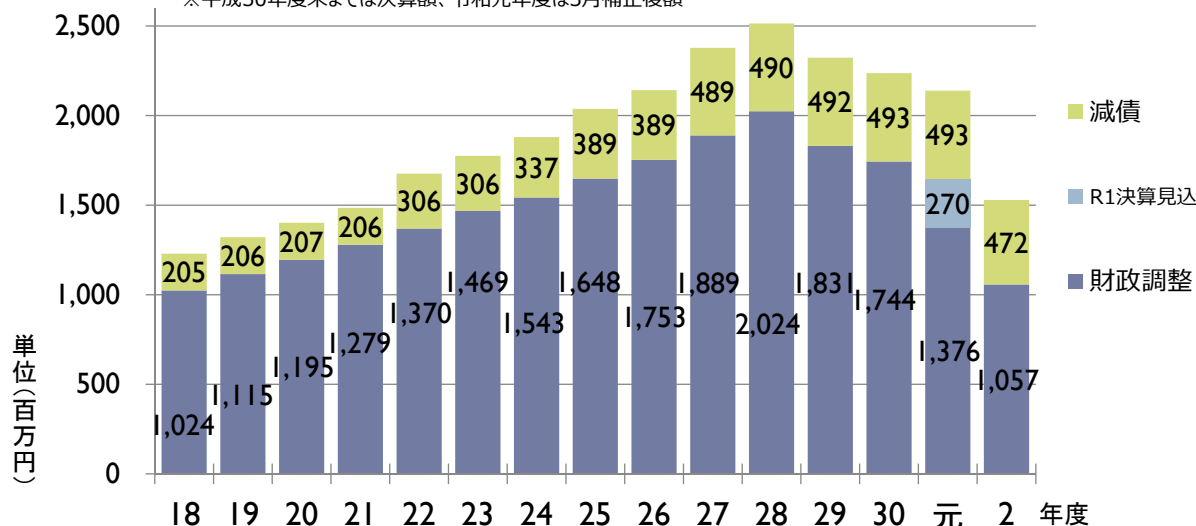


資料編

<基金の状況（財政調整基金・減債基金）>

▶ **令和2年度末基金現在高見込み（令和元年度同様財政調整基金を1億円を取り崩すと想定）**
 財政調整基金：10億5,699万円（前年度比較：5億8,926万円の減(▲35.8%)）
 減債基金：4億7,149万円（前年度比較：2,179万円の減(▲4.4%)）

※平成30年度末までは決算額、令和元年度は3月補正後額



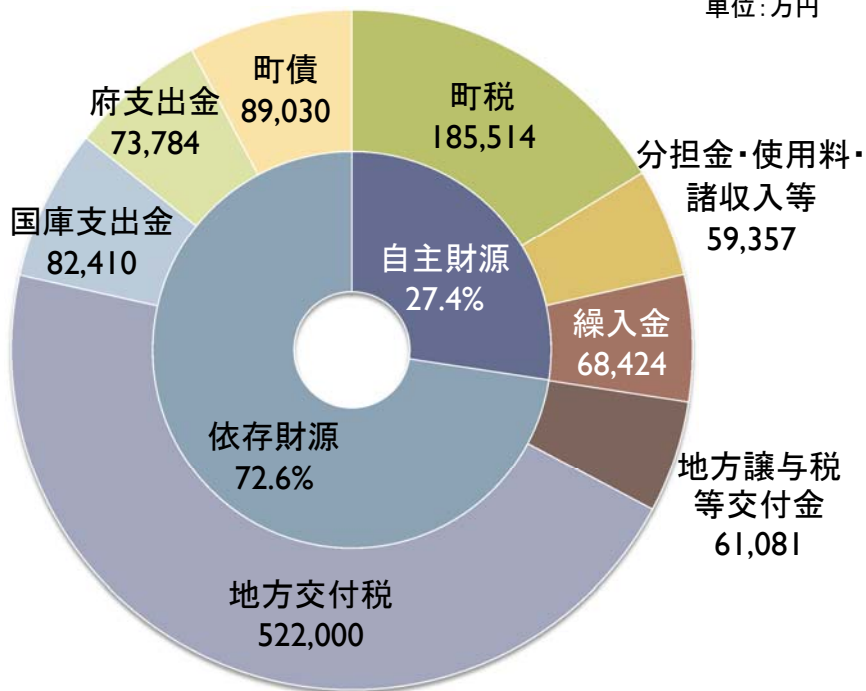
資料編

<令和2年度一般会計歳入 性質別内訳>

歳入総額: 114億1,600万円

単位: 万円

前年度比較	
(令和元年度当初予算との比較)	
町税	+ 0.7%
分担金・使用料・諸収入等	▲11.4%
繰入金	+10.0%
地方譲与税等交付金	+ 25.4%
地方交付税	+ 1.2%
国庫支出金	▲ 1.1%
府支出金	+ 5.9%
町債	▲ 68.9%



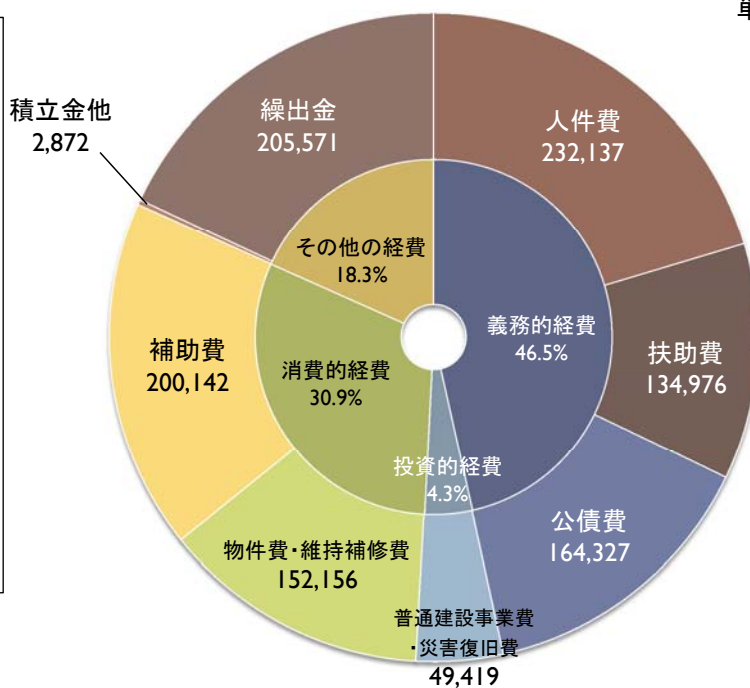
資料編

<令和2年度一般会計歳出 性質別内訳>

歳出総額: 114億1,600万円

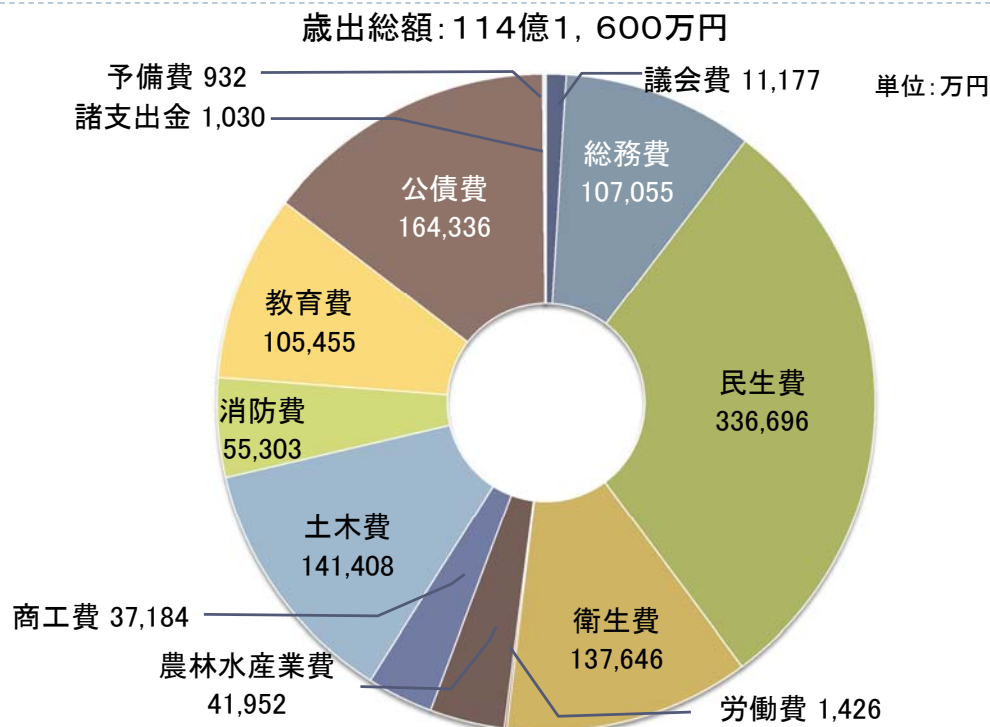
単位: 万円

前年度比較	
(令和元年度当初予算額との比較)	
人件費	+ 24.2%
扶助費	+ 4.1%
公債費	+ 0.4%
普通建設事業費・災害復旧費	▲ 57.5%
物件費	▲ 23.7%
維持補修費	+ 65.0%
補助費	▲ 38.7%
積立金他	+ 16.7%
繰出金	+ 4.0%



資料編

<令和2年度一般会計歳出 目的別内訳>



資料編

<基金取り崩しによる財源調整>

➡ 当初予算において「財政調整基金」 5億9,000万円を取崩し財源調整。 対前年度: +27.4% (1億2,700万円増)

財政調整基金は、当初予算編成時には不確定な財源もあるため財源補てんとしている。決算時には最小限の取り崩しとなるよう歳出抑制に取り組む。

平成29年度には、与謝野町発足以来初めて財政調整基金を2億円、翌30年度にも1億円取り崩す結果となった。

当初予算時の財政調整基金取り崩し額推移

単位: 百万円

基金名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度●	23年度	24年度	25年度	26年度●	27年度	28年度	29年度	30年度●	元年度	2年度
財政調整基金	0	200	100	80	0	45	200	420	463	465	479	528	509	463	590
決算取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	100	-	-

●の年度は6月補正後額

資料編

< 普通建設事業の状況（一般会計） >

令和2年度普通建設事業見込み 4億9,419万円

・令和元年度当初予算比較：6億5,580万円減（▲57.0%）

【令和2年度実施予定の主な普通建設事業】

単位：万円

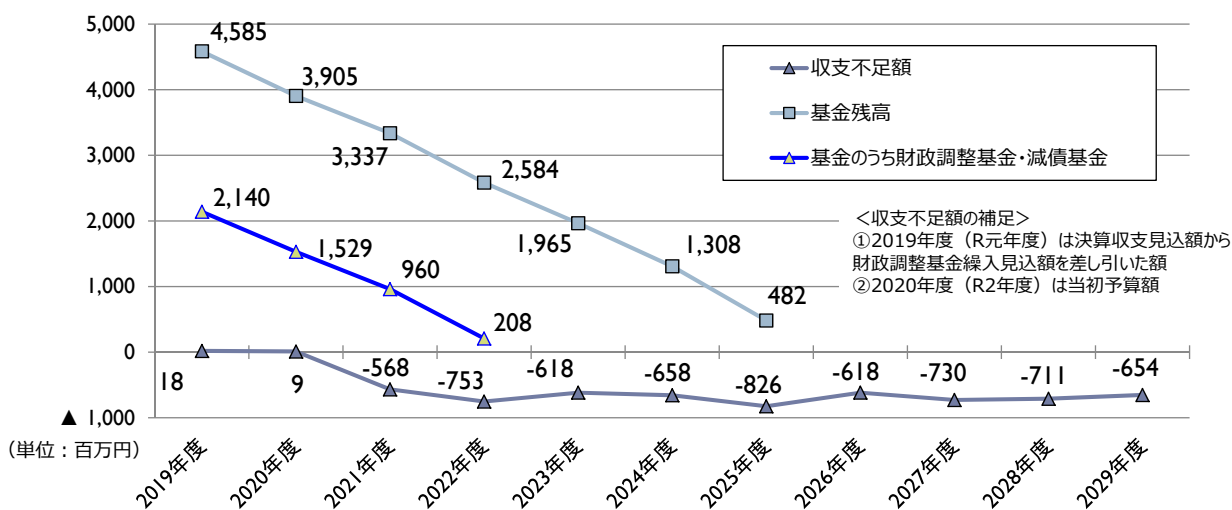
事業名	普通建設事業費	主な内容	担当課
認定こども園施設整備事業	804	桑飼小学校解体工事設計業務委託料、かやこども園整備に伴う単価入替え業務委託料	子育て応援課
治山事業	3,537	堰堤新設工事費、補償金等	農林課
かや山の家整備事業	6,050	かや山の家整備工事費、監理委託料、機械器具費	観光交流課
道路維持管理事業	2,915	道路維持工事費、橋りょう補修工事費	建設課
道路新設改良事業	5,480	町道改良工事費、通学路等整備工事費	建設課
河川改修事業	10,000	調査委託料、水路等整備工事費	建設課
町営住宅維持管理事業	4,650	町営住宅維持補修工事費、設計監理委託料	建設課
中学校施設整備事業	9,746	中学校施設整備工事費（江陽中学校トイレ改修）、監理委託料	学校教育課

※普通建設事業費は、道路・学校・公園などの公共施設の建設費や用地取得費等の経費。

資料編

< 与謝野町の財政状況 >

■一般会計の収支不足額と基金残高（財政調整基金・減債基金・特定目的基金）の推移



上記のグラフは、一般会計の2019年度（R元年度）決算見込み（3月補正後予算額）、2020年度（R2年度）当初予算の数値を基に、今後の見通しから算出した一般会計の収支不足額と基金残高の推移を示したグラフです。2021年度（R3年度）以降は、収支不足額を基金で補てんするものとして作成しています。

現状の行政サービスのまま推移すると、2023年度には財政調整基金及び減債基金が、2026年度には全ての基金が枯渇してしまいます。事務事業の見直しや公共施設統廃合の検討等、行財政改革を実行することで、収支不足の改善を図ります。